



## 町長エッセイ



令和3年度がいよいよスタートしました。

4月8日、相変わらずのコロナ禍の中、町立小学校、中学校の入学式が挙行されました。

感染症対策を徹底して行う下、6小学校と3中学校でそれぞれ実施され、本年度の入学者は小学生が140人、中学生では168人でした。

私は今回大河小学校へ出向きました。

6年生の児童が新1年生をリードし、手作りの花のアーチをくぐり、少し緊張した面持ちで入場してきました。新入生として初めて見る小学校の風景ですが、後方の保護者席に目を向けながら

自分の椅子に着き、先生から名前を呼ばれると、ハイ！と元気な声で手をあげ私たちに安心させました。

6年生になったらきっと、しっかりと新1年生を迎えることでしょう。

そうした中、月の半ば頃我が家の前の電線に鳴き声とともにツバメが数羽飛んできました。どうやら我が家の軒先にある古巣を見つけたようで、盛んに出入りを繰り返していました。

春先に新たに社会人になった人達や、学校へ通う人達が部屋探しをするのと同じような姿を重ねあわせながら、ツバメさんどうぞいらっしやい、と心の中で話しかけました。

松本恒夫